

第5学年1組 学級活動（3）学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 題材 「最高学年に向けて～ふれあい集会を通して～」

2 学習の構想

【このような子どもだから】

本学級の子どもは、1学期に行われたふれあい集会で、ペア学年である2年生のお世話に取り組んできた。また、委員会活動では、高学年の一員として、自分の仕事を最後までやり遂げたり、学校をよりよくするための取組を6年生と一緒に考え、実行したりする姿が見られた。

キャリア教育に関するアンケート（評定尺度法4点）の結果を見ると、他者の考えや気持ちを受け止めようとしている子どもは3.42P、問題が起きたとき、次に問題が起こらないようにしている子どもは3.46Pであった。一方で、見通しをもって計画的に進めたり、その方法を修正したりする子どもは3.17P、課題を解決する方法を自ら進んで見つけようとしている子どもは3.13Pであった。

これらのことから、他者の考えを受け止めようとする気持ちや自己の課題を解決したいという意欲はあるが、課題解決に向けて、見通しをもって進めたり、よりよい方法について考えたりすることに課題が見られる。

【このような内容を】

本題材は、小学校学習指導要領解説特別活動編に示された指導事項のうち、「(3)ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」をねらいとして設定されたものである。

具体的には、学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を活かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとするのである。ここでは、目指す最高学年像をイメージし、ふれあい集会で目指す「なりたい自分」を設定し、そのための方法を意思決定できるようにする。

このことは、将来に明るい希望や目標をもって現在及び将来の生活や学習に進んで取り組み、自己のよさや可能性を生かそうとする意欲や態度を育てる上で大変意義深い。

【このような指導で】

本題材の指導にあたっては、目指す最高学年像をイメージし、ふれあい集会で目指す「なりたい自分」を設定し、そのための方法を意思決定できるようにする。

そのために、本時の指導にあたっては、まず、「つかむ」段階では、課題意識をもつことができるように、最高学年に関する意識調査の結果を提示する。

次に、「つくる」段階では、「なりたい自分」を設定することができるように、目指す最高学年像について話し合う活動を設定する。

そして、「深める・決める」段階では、「なりたい自分」になるための方法を見つけ、意思決定できるように、友達と交流する場を設定する。

最後に、「振り返る」段階では、本時の学習を実践につなぐことができるように、「なりたい自分」「アドバイスを聞いて気付いたこと」「ふれあい集会に向けて頑張りたいこと」の3つの視点を基に振り返る活動を行う。

【このような視点を意識して】

◎コミュニケーションを図る力 < A 人間関係形成・社会形成能力 >

◎自分を前向きにとらえる力 < B 自己理解・自己管理能力 >

◎見通しをもち、自分の考えをつくる力 < C 課題対応能力 >

◎学ぶこと・働くことの意義や自分の役割を理解する力 < D キャリアプランニング能力 >

【このような子どもに】

< 題材の目標 >

| | |
|--------------|---|
| 知識及び技能 | 目標をもつことの大切さを理解し、最高学年に向けて、「なりたい自分」を明確にもち、その実現に向けて、必要な知識や行動の仕方を身に付けることができる。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | 「なりたい自分」になるための方法について話し合い、自分に合った方法を意思決定して、実践することができる。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | 「なりたい自分」に向けて、他者と協働し、見通しをもったり、振り返ったりしながら、粘り強く行動しようとする。 |

3 題材計画（全1時間＋児童会活動＋課外）

A…人間関係形成・社会形成能力 B…自己理解・自己管理能力 C…課題対応能力 D…キャリアプランニング能力

| 次 | 時 | 主な学習活動 | 指導上の留意点（○）、評価規準と方法（◇） | 視点 |
|-------|-----------|--|--|-----|
| 一 | 1 （本時） | 最高学年に向けて、「なりたい自分」になるための方法を話し合い、ふれあい集会で実践することを意思決定する。 | ○ 目指す最高学年像をイメージした上で「なりたい自分」を設定し、ふれあい集会に向けて自分が実践することを意思決定できるように、友達とアドバイスし合ったり、6年生からのメッセージビデオを見たりする活動を設定する。 ◇ ふれあい集会に向けて、自分が実践することを意思決定している。 【思考・判断・表現】《キャリア・パスポート》 | A・C |
| 課外 | | 「なりたい自分」に向かって、意思決定したことを実践する。 | ○ めあてへの意識が継続するように、活動の様子をふり振り返りノートに記録させたり、めあてを掲示したりする。 ◇ 具体的な一日の行動目標を立てて実践している。 【主体的態度】《観察、キャリア・パスポート》 | A・D |
| 児童会活動 | | ふれあい集会をする。 | ○ 学年や学級が異なる児童とともに楽しくふれ合うことができるように、これまでの準備や取組を生かしてペア学年で大縄をする活動を設定する。 ◇ 自分で立てためあて（集会を通して「なりたい自分」の実現に向けて実践しようとしている。 【主体的態度】《観察、キャリア・パスポート》 | A・C |
| 課外 | | 実践を振り返る。 | ○ 自己の成長を実感することができるように、写真や動画等を活用して、頑張りを認め合う活動を設定する。 ◇ 実践を振り返り、現在及び将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている。 【主体的態度】《キャリア・パスポート》 | A・B |

4 本時 令和3年11月18日（木） 13：40～14：25 於：5年1組教室

(1) 本時のねらい

自分のよさや課題を基に、最高学年に向けて「なりたい自分」になるための方法について話し合ったり、6年生からのメッセージビデオを見たりする活動を通して、ふれあい集会に向けて実践することを意思決定できるようにする。

(2) 本時で意識するキャリア教育の視点

| 意識する視点 | 意識する視点の具体 |
|-----------------|---|
| A 人間関係形成・社会形成能力 | ○ 友達のアドバイスをうなずきながら聞いたり、相手意識をもってアドバイスしたりすることができる。 |
| C 課題対応能力 | ○ 友達や6年生からのアドバイスをもとに、「なりたい自分」になるために実践することを意思決定することができる。 |

(3) 準備

ふれあい集会の写真・動画、校長先生や6年生からのメッセージ動画、キャリア・パスポート

(4) 展開

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点（○）と評価規準（◇） 意識するキャリア教育の視点（◀▶）と手だて（◎） |
|-----|--------------------------|--|
| つかむ | 1 アンケートの結果から、本時のめあてをつかむ。 | ○ 目指す最高学年像と自分達の姿のずれに気付くことができるように、校長先生のメッセージ動画を視聴したり、事前アンケートの結果を提示したりする。 【めあて】 ふれあい集会に向けて、がんばることを決めよう。 |

つくる

- 2 目指す最高学年像について話し合う。
- (1) 最高学年としてあこがれる、6年生の姿を出し合う。

6年生の姿

- ・ みんなをまとめる姿
- ・ 下級生や友達に優しい姿
- ・ 引っかかってもあきらめない姿
- ・ みんなのためにかげで頑張る姿

- (2) 「なりたい自分」について考える。

- 3 「なりたい自分」になるための方法を見つける。

- (1) 「なりたい自分」になるための方法を自分で考える。

- (2) 「なりたい自分」になるための方法についてアドバイスをし合う。

深める

- 目指す最高学年の姿を共有することができるように、行事や委員会で見つけた、あこがれの6年生の姿を出し合う。
- 下級生や友達のために、6年生が見えないところでも頑張っていることに気付くように、6年生へのインタビュー動画を視聴する場を設定する。
- ふれあい集会で目指す「なりたい自分」を設定することができるように、学習活動(1)で出し合った6年生の姿や事前調査で挙げた、目指す最高学年像を基に考えるよう助言する。

- 具体的な方法を考えることができるように、春のふれあい集会で実践した「なりたい自分」になるための方法を数名の子どもに発表させる場を設定する。
- 目的に合った相手にアドバイスを求めることができるように、春のふれあい集会で子どもが目指した「なりたい自分」を提示しておく。



わたしは、みんなをまとめられる人になりたいです。そのために、練習が上手いいかない時には、話し合いをしたり、大縄が苦手な友達に、進んでアドバイスをしたりするという方法を考えました。〇〇さんは、1回目のふれあい集会の時に、リーダーをしていましたが、他によい方法はありませんか。


ぼくも、リーダーの時に、◇◇さんと同じ方法でやってみました。練習が上手いいかない時に、話し合いをすると、みんなの意見が聞けて、練習方法を見直すことができました。他にも、練習にみんなが参加できるように、練習計画を作成しました。練習がある日には、必ずみんなに声をかけるようにしました。(友達)



春のふれあい集会では、みんなをまとめられる人を目指しました。ぼくは、跳べずに悩んでいる友達がいらないか、気にかけるようにしました。表情を見ていると、だんだん友達の気持ちが分かるようになりました。だから、声をかけたり、アドバイスをしたりするタイミングが分かるようになりました。(6年生)



- ◎ 自分に合った方法を見つけることができるように、「なりたい自分」になるための方法について友達と話し合ったり、6年生からのメッセージビデオを見たりする活動を設定する。

| | | |
|------|--|---|
| 決める | <p>4 ふれあい集会に向けて実践することを意思決定する。</p> <p>(1) 実践することを意思決定し、キャリア・パスポートに記入する。</p> | |
| 振り返る | <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>わたしは、あきらめない人になりたいです。はじめは、方法がいくつかあってどれが自分に合っているか分かりませんでした。だけど、友達にアドバイスをしてもらったり、6年生の体験談を参考にしたりすると実践することが分かってきました。</p> <p>上手に跳べないときには、先生や友達にコツを聞いて練習しようと思いました。ふれあい集会の当日まで必ず練習に行って、全力を尽くしたいです。</p> | <div data-bbox="268 360 1422 495" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>友達や6年生のアドバイスを参考に、「なりたい自分」に向けて頑張りたいことをキャリア・パスポートに書きましょう。</p> </div> <div data-bbox="268 495 1422 1108" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【意思決定の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ みんなをまとめられる人になるために、練習の前にみんなに声をかけて、全員が練習に参加できるようにする。そして、困っている友達がいたら、声をかけたり、アドバイスをしたりする。 ○ あきらめない人になるために、必ず練習に参加する。自分が上手くできない時には、先生や友達にコツを聞いて練習する。 <p>◎ ふれあい集会に向けて、実践することを意思決定することができるように、友達や6年生のアドバイスを参考にしよう声かけをする。また、たくさん方法があり、迷っている児童に対して助言する。 <C 課題対応能力></p> <p>◇ 友達や6年生からのアドバイスをもとに「なりたい自分」になるためにふれあい集会に向けて実践することを意思決定している。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】《キャリア・パスポート》</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実践後の振り返り活動につなげることができるように、ふれあい集会で目指す「なりたい自分」とその方法を生活班で伝え合い、共有する場を設定する。 ○ 本時の学習を実践につなぐことができるように、「なりたい自分」「アドバイスを聞いて気付いたこと」「ふれあい集会に向けて頑張りたいこと」の3つの視点を基に振り返る活動を設定する。 |